

27	生活文化スポーツ局	パラスポーツの振興
事業概要	<p>「東京都スポーツ推進総合計画」（平成30年3月策定）、「『未来の東京』戦略」（令和3年3月策定）及びTOKYOスポーツレガシービジョン（令和4年1月策定）に基づき、「理解促進・普及啓発」「場の開拓」「支える人材の育成」「競技力向上」の視点から、パラスポーツの振興に向けた施策を展開している。</p>	
これまでの経過	<p>1 理解促進・普及啓発</p> <p>(1) 東京2020パラリンピック以降もパラスポーツが継続して社会に根付く土壌を作るため、パラスポーツを応援する人を増やすプロジェクト「TEAM BEYOND」により総合的な普及啓発事業を実施</p> <p>(2) パラスポーツ全般の競技体験やアスリートによるデモンストレーション、競技紹介パネル等の展示など、パラスポーツの魅力を体験できるプログラムを区市町村や大学等と連携して実施</p> <p>(3) 競技団体が主催するパラスポーツの国際大会の開催を促進し、ハイレベルな戦いを観戦できる機会を都民に提供</p> <p>(4) 障害のある人もない人も共に楽しめる参加体験型スポーツイベント「チャレスポ! TOKYO」を開催</p> <p>(5) 都内のパラスポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO障スポ・ナビ」を「TOKYOパラスポーツ・ナビ」としてリニューアルし運営</p> <p>(6) パラスポーツムーブメントの拡大に向けて、パラリンピックを開催した8・9月を「TOKYOパラスポーツ月間」と位置付け、多様な主体と連携してパラスポーツの魅力を発信する様々な取組を実施</p> <p>2 場の開拓</p> <p>(1) 「都立特別支援学校活用促進事業」により、障害のある人や障害者スポーツ団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都内にある都立特別支援学校の体育施設を学校教育活動に支障のない範囲で平日夜間や土日・祝日に貸し出すとともに、障害の有無にかかわらず個人で参加が可能なパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施</p> <p>(2) 障害のある人が身近な地域で継続的にスポーツを楽しめるよう、区市町村が主体的に取り組むパラスポーツ事業やスポーツに親しめる環境を推進する工事を財政的に支援</p> <p>(3) 「地域サポート事業」により、パラスポーツ事業の企画・実施に関する相談や助言、パラスポーツ指導員の派遣、スポーツ用具の貸与を行い、区市町村や地域スポーツクラブ等の取組を支援</p> <p>(4) スポーツ施設における障害者の受け入れ対応の好事例等を紹介した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」（令和4年度改正）を活用したアドバイザー派遣や普及を行い障害者がスポーツ施設を利用しやすい環境の整備を促進</p> <p>(5) バリアフリーに配慮したコースを選定しウォーキングイベント等を実施する「TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業」により、障害の有無にかかわらず都民のウォーキングを促進</p> <p>(6) 遠隔操作によりコミュニケーションが可能な分身ロボットを活用し、外出困難な重度障害者等が体験教室やボランティアに参加など「する・みる・支える」の様々なスポーツ活動に参加できる「パラスポーツリモート参加事業」を実施</p> <p>(7) 「デジタル技術を活用したパラスポーツ（eパラスポーツ）事業」により、外出が困難であるものの、体を動かす意欲のある障害のある人に、自身で操作できるよう個々の状態に合わせて加工した機器を福祉施設等に提供するとともに、施設同士の交流会を実施</p> <p>(8) スポーツや運動に関心を持たない障害のある人や障害のある人に日常的に接している周囲の人々に向けて、身体を動かすことでの健康面等での効用に着目した情報発信を行い、運動に取り組む動機付けを実施</p> <p>(9) 障害者の日中の居場所である福祉施設や放課後等デイサービスなどを対象に指導者を派</p>	

	<p>遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動を定期的実施することで、身体を動かすことの習慣化を図るとともに、スポーツ施設に出向いていただくきっかけを提供</p> <p>(10) 「パラスポーツコンシェルジュ」を設置し、障害のある人に対するスポーツに関する情報提供や助言を行うとともに、パラスポーツの支援に取り組む企業と競技団体等をつなぐ取組を実施</p> <p>3 支える人材の育成</p> <p>(1) 区市町村職員、教職員、スポーツ推進委員や医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、地域におけるパラスポーツ振興のキーパーソンを育成</p> <p>(2) パラスポーツ指導員養成講習会を通じてパラスポーツの現場で実際に指導・支援に当たる人材を養成し、地域におけるパラスポーツの取組を促進</p> <p>(3) 研修会やフォーラム等の開催に加え、e-learning 講座の配信等により、障害者のスポーツ活動を支える人材の育成と資質向上を推進</p> <p>また、障害者スポーツボランティアポータルサイト「TOKYO 障スポ&サポート」を通じたボランティア募集情報の提供や、活動先とのマッチングにより、ボランティアの活動機会を拡充</p> <p>(4) 様々な団体が開催するパラスポーツをテーマとした研修会等に講師を派遣するなど、パラスポーツの多様な担い手を育成するパラスポーツ研修キャラバン事業を実施</p> <p>4 競技力向上</p> <p>(1) 都内からパラスポーツの次世代を担う選手を輩出することを目的に、「パラスポーツ次世代ホープ発掘事業」を実施。競技体験会や競技相談会等を行う選手発掘プログラムや、スポーツ理論に関する講習会を行うフォロープログラム等を実施し、競技者としてのスポーツ活動の継続・定着を促進</p> <p>(2) 国際大会で活躍する東京ゆかりのスター選手を継続的に輩出していけるよう、デフアスリートを含むパラアスリートの強化支援を実施。また、パラアスリートを支えるスタッフの活動環境整備を促進</p> <p>(3) 東京におけるパラスポーツ競技団体の選手の競技力向上等を目的とした活動を支援するとともに、ガバナンス等をテーマにした講習会の実施や、法人格取得支援等により競技団体の組織体制強化を促進</p> <p>(4) 全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、大会正式競技の強化練習会を開催し、選手の競技力を強化</p> <p>(5) パラスポーツを通じて、自らの体力の維持・増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、障害のある人に対する都民の理解の増進を図り、もって障害のある人の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的に東京都障害者スポーツ大会を開催</p> <p>(6) 東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会の結果等を踏まえて選出された選手や役員で構成される選手団を全国障害者スポーツ大会へ派遣</p> <p>(7) 東京 2025 デフリンピックに向け、デフスポーツの競技力を向上させるとともに、都民のデフスポーツへの関心を高めることを目的として、デフスポーツ中央競技団体が都内で実施する強化合宿や普及啓発活動等に対し、財政的支援を実施。</p>			
<p>行 状 況 現 在 の 進</p>	<p>「東京都スポーツ推進総合計画」等に基づき、引き続き上記の事業を着実に実施するとともに、『『未来の東京』戦略』において、2030 年に「週 1 回以上スポーツをする障害のある都民（18 歳以上）の割合 50%」と「パラスポーツに関心のある都民の割合 80%」を政策目標とし、東京 2020 パラリンピック後のレガシー定着のために様々な取組を行っている。</p>			
<p>見 通 し 今 後 の</p>	<p>東京 2020 パラリンピック後のレガシーとして、パラスポーツを「する」「みる」「支える」ための様々な環境整備を加速させるため、引き続き、パラスポーツの理解促進・普及啓発、場の開拓、人材育成及び競技力向上等に取り組んでいく。</p>			
<p>せ 問 先 合</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="239 1937 973 2016">生活文化スポーツ局 スポーツ総合推進部 パラスポーツ課</td> <td data-bbox="973 1937 1045 2016">電 話</td> <td data-bbox="1045 1937 1436 2016">03-5320-6286</td> </tr> </table>	生活文化スポーツ局 スポーツ総合推進部 パラスポーツ課	電 話	03-5320-6286
生活文化スポーツ局 スポーツ総合推進部 パラスポーツ課	電 話	03-5320-6286		